

2025年度 授業要項

区 分	基礎分野			履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	からだの仕組み I			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭			使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	山本 雅貴			講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、人体組織の基礎生理学を理解することを目的とする。 人体の細胞、皮膚と膜、血液循環、神経の知識を身につけ、医学を学ぶ者としての土台作りをする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	身体の断面(前額面、矢状面、水平面)		
2	1	2	細胞		
3	1	2	細胞		
4	1	2	細胞		
5	1	2	皮膚と膜		
6	1	2	皮膚と膜		
7	1	2	皮膚と膜		
8	1	2	血液循環		
9	1	2	血液循環		
10	1	2	血液循環		
11	1	2	神経		
12	1	2	神経		
13	1	2	神経		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
のほほん解剖生理学(永岡書店) 資料配布					
教員について【実務経験有】					
中高保健体育教諭資格の他、柔道整復師資格、理学療法士、パーソナルトレーナーの資格を有し、整形外科勤務において外傷処置やリハビリテーション業務を通してえたものを活かし授業を進める。					

2025年度 授業要項

区 分	基礎分野			履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	からだの仕組みⅡ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭			使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	山本 雅貴			講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、人体組織の基礎生理学を理解することを目的とする。 感覚器、内分泌、骨格と筋、呼吸器の知識を身につけ、医学を学ぶ者としての土台作りをする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	感覚器		
2	1	2	感覚器		
3	1	2	感覚器		
4	1	2	内分泌		
5	1	2	内分泌		
6	1	2	内分泌		
7	1	2	骨格と筋		
8	1	2	骨格と筋		
9	1	2	骨格と筋		
10	1	2	骨格と筋		
11	1	2	呼吸器		
12	1	2	呼吸器		
13	1	2	呼吸器		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
のほほん解剖生理学(永岡書店) 資料配布					
教員について【実務経験有】					
中高保健体育教諭資格の他、柔道整復師資格、理学療法士、パーソナルトレーナーの資格を有し、整形外科勤務において外傷処置やリハビリテーション業務を通してえたものを活かし授業を進める。					

2025年度 授業要項

区分	基礎分野			履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	からだの仕組みⅢ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭			使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	山本 雅貴			講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、人体組織の基礎生理学を理解することを目的とする。 消化器、泌尿器、生殖器、免疫の知識を身につけ、医学を学ぶ者としての土台作りをする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	消化器		
2	1	2	消化器		
3	1	2	消化器		
4	1	2	消化器		
5	1	2	泌尿器		
6	1	2	泌尿器		
7	1	2	泌尿器		
8	1	2	泌尿器		
9	1	2	生殖器		
10	1	2	生殖器		
11	1	2	生殖器		
12	1	2	免疫		
13	1	2	免疫		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
のほほん解剖生理学(永岡書店) 資料配布					
教員について【実務経験有】					
中高保健体育教諭資格の他、柔道整復師資格、理学療法士、パーソナルトレーナーの資格を有し、整形外科勤務において外傷処置やリハビリテーション業務を通してえたものを活かし授業を進める。					

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	スポーツ科学 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	今井 公一		講義形式	講義
学習目標と講義概要	鍼灸師およびスポーツトレーナーになるための土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。体力の概念、運動器(骨・筋)、運動力学、運動生理学など、主に理論の部分での理解を深める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	オリエンテーション	
2	1	2	体力トレーニング総論	
3	1	2	機能解剖(1) 上肢	
4	1	2	機能解剖(2) 脊柱と胸郭	
5	1	2	機能解剖(3) 骨盤と下肢	
6	1	2	バイオメカニクス(1) 基礎理論	
7	1	2	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
8	1	2	バイオメカニクス(総括)	
9	1	2	運動生理学(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動1	
10	1	2	運動生理学(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動2	
11	1	2	運動生理学(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動1	
12	1	2	運動生理学(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動2	
13	1	2	運動生理学(総括)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
トレーニング指導者テキスト[理論編]:大修館書店 トレーニング指導者テキスト[実践編]:大修館書店				
教員について【実務経験有】				
中高保健体育教諭資格を有し、パーソナルトレーナーとしての勤務経験を通して現場でえたものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	スポーツ科学Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	今井 公一		講義形式	講義
学習目標と講義概要	鍼灸師およびスポーツトレーナーになるための土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。運動における栄養、心理面を踏まえたコミュニケーション、基礎医学と運動指導の科学を身につけ理論の部分での理解をさらに深める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	運動と栄養(1)運動と栄養の基礎理論	
2	1	2	運動と栄養(2)対象と目的に応じた栄養摂取	
3	1	2	運動と栄養(総括)	
4	1	2	運動と心理(1)運動と心理の基礎理論	
5	1	2	運動と心理(2)運動学習と指導法	
6	1	2	運動と心理(総括)	
7	1	2	運動と医学(1)生活習慣病	
8	1	2	運動と医学(2)スポーツ傷害	
9	1	2	運動と医学(3)救急処置法	
10	1	2	運動と医学(総括)	
11	1	2	トレーニング指導者の役割	
12	1	2	トレーニング指導者の実務	
13	1	2	トレーニング指導者論(総括)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
トレーニング指導者テキスト[理論編]:大修館書店 トレーニング指導者テキスト[実践編]:大修館書店				
教員について【実務経験有】				
中高保健体育教諭資格を有し、パーソナルトレーナーとしての勤務経験を通して現場でえたものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	スポーツ科学Ⅲ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	今井 公一		講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要	様々な場面において、スポーツ現場や介護予防の現場において活躍する事が出来る鍼灸師になる為の土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。鍼灸師の資格を持って、運動器を理解し、スポーツ傷害から予防のトレーニング方法、高齢者への転倒防止、機能改善のトレーニング方法基礎を学ぶ。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	トレーニング効果の測定と評価	
2	1	2	測定データの分析とデータの活用法	
3	1	2	測定と評価(総括)	
4	1	2	長期的トレーニング計画	
5	1	2	レジスタンストレーニング	
6	1	2	パワートレーニング	
7	1	2	持久力トレーニング	
8	1	2	スピードトレーニング	
9	1	2	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
10	1	2	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
11	1	2	生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム	
12	1	2	トレーニング理論とプログラム(総括1)	
13	1	2	トレーニング理論とプログラム(総括2)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 トレーニング指導者テキスト[理論編]:大修館書店 トレーニング指導者テキスト[実践編]:大修館書店				
教員について【実務経験有】 中高保健体育教諭資格を有し、パーソナルトレーナーとしての勤務経験を通して現場でえたものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区 分	基礎分野			履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	スポーツ科学Ⅳ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭			使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	今井 公一			講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要	様々な場面において、スポーツ現場や介護予防の現場において活躍する事が出来る鍼灸師になる為の土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。鍼灸師の資格を持って、運動器を理解し、スポーツ科学Ⅲで学んだ内容を基に測定と評価を行えるようになり、スポーツ選手から高齢者まで、より効率的なトレーニング方法が出来るようになる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	レジスタンストレーニングの実技と指導法1		
2	1	2	レジスタンストレーニングの実技と指導法2		
3	1	2	パワートレーニングの実技と指導法1		
4	1	2	パワートレーニングの実技と指導法2		
5	1	2	持久力トレーニングの実技と指導法1		
6	1	2	持久力トレーニングの実技と指導法2		
7	1	2	スピードトレーニングの実技と指導法1		
8	1	2	スピードトレーニングの実技と指導法2		
9	1	2	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法1		
10	1	2	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法2		
11	1	2	トレーニングの実技と指導法(総括1)		
12	1	2	トレーニングの実技と指導法(総括2)		
13	1	2	トレーニングの実技と指導法(総括3)		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法 1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書 トレーニング指導者テキスト[理論編]:大修館書店 トレーニング指導者テキスト[実践編]:大修館書店					
教員について【実務経験有】 中高保健体育教諭資格を有し、パーソナルトレーナーとしての勤務経験を通して現場でえたものを活かし授業を進める。					